

木下 義昭

【経歴】

- 1998年4月～ 産業機械メーカーへ就職 [橋梁架設用ガーダー設計・開発他]
- 2002年4月～ 玉名市役所入庁 (道路改築の用地買収から工事を担当)
- 2016年4月～ 主に橋梁メンテナンスに従事 現在に至る。

【活動概要】

2016年4月の配属直後に熊本地震を経験し、自らの無力さを痛感したことにより、**自らを含めた市職員の技術力向上**が必要だと考え、橋梁補修を直営で実践することでOJTによる現場知見の習得を図る『橋梁補修DIY』をはじめ、種々の取組みを実践しながら、**身の丈にあったマネジメントの構築をフィールドワーク**としている。

【土木学会の活動】

- 土木学会 インフラメンテナンス総合委員会
アクティビティ部会 委員(2021～)
- 地方インフラ・メンテナンスネットワーク 委員(2021～)
- 土木学会 コミュニケーション部門 土木学会誌編集委員会 委員(2022～)

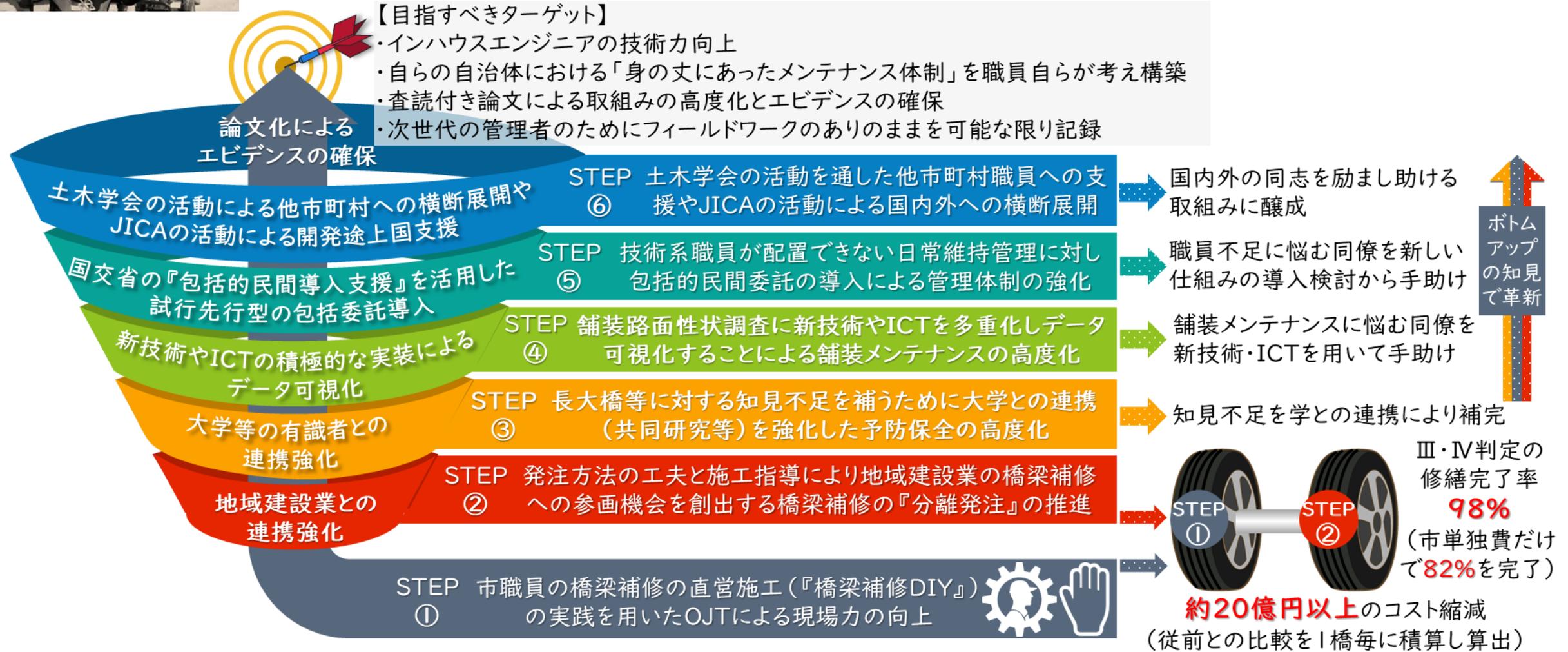
【賞歴】

- 2019年：第3回インフラメンテナンス大賞 国土交通省 『優秀賞』
- 2021年：土木学会 令和2年度 『土木学会賞 論文賞』
- 2021年：土木学会 建設マネジメント委員会 『グット・プラクティス賞』
- 2022年：土木学会 インフラメンテナンス総合委員会 2021年度インフラメンテナンス賞 『チャレンジ賞』
- 2022年：土木学会 インフラメンテナンス総合委員会 2021年度インフラメンテナンス賞 『エキスパート賞』



木下 義昭の取組み紹介

自らが置かれた状況の中で全力で取り組むメンテナンス



上図 橋梁補修DIYを核として産・学・官との連携強化により市道のメンテナンスをスパイラルアップしているイメージ図